

よろづ屋

Ki-mono通信



南相馬市原町区栄町2-83

電話 0244-24-2929

2018・10月号

みなさまこんにちは！よろづ屋です！

10月になりすっかり秋ですね。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、いろいろな秋がありますが、皆さまはどんな秋がお好きですか？

よろづ屋はもちろん着物の秋です！単衣の季節も終わり、袷の季節です。

結城紬や大島など秋に着たい着物がたくさん♪

みなさんも秋の着物生活楽しんでください！！

10月の店内催事

早いもので10月になりました！今月の当店の催事は、DMのお客様のみの特別企画！

西陣の老舗山下織物のアールヌーヴォー全通袋帯、伊勢型工芸の伝統工芸士赤塚順一作の訪問着や小紋を揃えました。

他にも、おしゃれ着物や和装小物などをスペシャルプライスで提供いたします。

また、丸洗いのキャンペーンも同時開催！

10月中は1点2,900円を2,800円にて承ります。さらに5点以上だと1点が2,000円となります。衣替えのシーズンにぜひご利用ください。

今月のお楽しみイベントは、ハロウィーンにちなんで、大輪投げ大会を開催します。

5,000円以上のお買い物で輪投げに挑戦！

今月も、笑顔いっぱい皆様のご来店をおまちしております♪

伊勢型工芸 / 伝統工芸士 赤塚順一作

鈴鹿市・白子駅近くでは、今も昔も型紙作りが盛んです。伝統に裏打ちされた卓越した職人の技により、400年余りにわたって受け継がれてきた日本の大切な文化、伊勢型紙。そんな伊勢型紙の独自の美しさを、伝統工芸士の技が訪問着に昇華させました。色数を抑えながらも決して手抜きしない作品作りは、着物ファンの皆さまにも広く受け入れられています。

お茶席や披露宴などにお召し頂けるフォーマルなものから、江戸小紋を組み合わせて染めたおしゃれ作品など、幅広く取り揃えました。是非、ご覧ください。

伊勢型工芸訪問着

伊勢型工芸小紋・江戸小紋



葡萄時草

空町手鞠

極々通し小紋

式百五拾通・参百通小紋



万葉集

荒織

波濤小紋

極毛万通立割筋小紋

※写真はイメージです。

秋色の季節、よろづ屋で紅葉狩り…

秋きもの冬大祭典

着物好きの集う場所
和装館
よろづ屋
原町本店 yoroduya

南相馬市原町区栄町2-83
TEL 0244-24-2929

営業時間9:30~18:00
(定休日:毎週水曜日)

期間:10月12日(金)・13日(土)・14日(日)・15日(月)
会場:よろづ屋 原町本店

着物を着てお出かけが楽しい季節です。秋冬もの多数お得な4日間、着物生活をより楽しむ為のご提案をいたします。また、山下織物「アールヌーヴォー全通帯展」、伝統工芸士 赤塚順一作「伊勢型工芸訪問着、伊勢型工芸小紋・江戸小紋展」を同時開催。

アールヌーヴォー全通袋帯 / 山下織物

Art Nouveau

アールヌーヴォーとは、「新しい芸術」。

※写真はイメージです。

明治維新から15年過ぎた頃に、日本では鹿鳴館などで多くの外国人に、日本の文化が紹介されました。当時のヨーロッパでは花や蝶などをそのまま柄にする発想はなく、友禅などの日本の美しい着物文様は産業革命による機械化や工業化、全てのものが画一的に作られていく無機質な世の流れへの反動から、驚きをもって、新しい芸術(Art Nouveau)として受け入れられました。

今回はフランス人デザイナー ユーゼーン・アラランセギとウィリアム・モリスを中心に当時のアールヌーヴォーのデザインの中から秀逸な原図を集め、西陣の織屋にて現代に合う色調にて復元染織した袋帯が完成しました。織屋は天明2年1782年創業の坂本小四郎(現在の山下織物)日本で5本の指に入る老舗です。パリの市長に贈られた陣羽織も、この織屋で織られました。



＜大好評！草履お誂え会＞

8月24日から4日間、原町本店で、浅草履物の老舗「柏美」の職人であります五十嵐さんにご来店頂き、お誂え草履や、花緒の交換、台のメンテナンスなどを行いました。好みの台や花緒を選んで、その場でサイズに合わせて調整し挿げてくださるので、足にぴったりの履き心地にご来店いただいたお客様に大変好評でした！！台の種類も沢山あって、どれもこれも足を乗せた時のクッションがすごいです！



低反発が入っているものは、また更にすごい！！
 本革の草履は、花緒を交換したり、メンテナンスすれば20年は履けるとの事です。また、今回大人気だった、帆布でできている草履は、雨にも汚れにも強くて丈夫だそうです。
 台の色のバリエーションも豊富で、普段履きに欲しい一足でした。
 次回は買いたい！

私の草履の花緒がかわいそうなど、ポロポロで、この機会にと花緒を交換しました。沢山の花緒から、組紐の花緒を選んで挿げていただいたら、その履き心地といい、まるで新品(≧▽≦)大好評だったので、また企画します！！



今回ご来店いただけなかったお客様も、次回は是非この草履の履き心地を試してみてください！！

キモノ Q&A

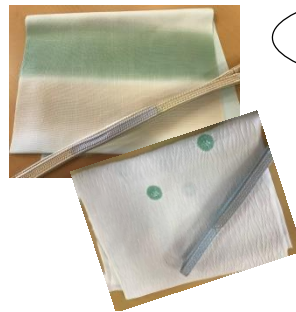
フォーマル編

Q: 結婚式での帯の結び方で、飾り結びにしてもいいですか？

A: 式ではお太鼓を締めましょう

結婚式などの式典では、袋帯なら二重太鼓、名古屋帯ならお太鼓が正式な結び方になります。留袖には必ず袋帯で二重太鼓に結びます。格のある帯なら、お太鼓を締める方がふさわしいでしょう。カジュアルなパーティーであれば、小紋に華やかな飾り結びも素敵です。ただし、角出しはあくまでもカジュアルな結び方になります。ちなみに、成人式で若いお嬢さんが振袖に帯を羽根が出るように結ぶのは、「未来に向かって飛び立つ」という意味があります。年齢や着物に合った結び方を心掛けてください。

参考文献:「着物の辞典」
 大久保信子(池田書店)



当店おすすめ商品！

「衿秀」帯揚げ
 帯締め

12,000円(税別)～

今回ご紹介するおすすめ商品は、京都の老舗和装小物「衿秀」の帯揚げ、帯締めです。着物や帯は、帯揚げや帯締めの合わせ方で、表情が変わります。色や柄で遊びを取り入れながらおしゃれを楽しむのも着物ならではの楽しみ方です。「衿秀」は自社開発でもの創りをしています。その強みは「他にはないオリジナル商品」ということで、既存品では満足いかないお客様などにぜひおすすめです。当店では、こちらの写真の他にもご用意してありますので、ぜひ一度手に取って、こだわりのもの創りの良さを実感してみてください。

写真上: 帯揚げ13,000円(税別)、帯締め12,000円(税別)
 写真下: 帯揚げ14,000円(税別)、帯締め12,000円(税別)

今月は、ハロウィーンということで、店頭も少しだけ飾り付けをしました。なかなか気づかないかもしれませんが、お店のどこにあるか探してみてくださいね。季節の行事は、和・洋とも関係なく楽しいものです。秋は様々なイベントやコンサートなどがあちこちで開催されますので、ぜひ、着物でお出かけしてみよう♪

